

オンライン説明会 実施概要

1. 日時

- 第1回 9月14日(木) 19時~20時
- 第2回 9月15日(金) 13時~14時
- 第3回 9月16日(土) 10時~11時
- 第4回 9月16日(土) 15時~16時

2. 参加者数

- 第1回・・・60名程度
 - 第2回・・・80名程度
 - 第3回・・・40名程度
 - 第4回・・・30名程度
-
- 総参加者 210名程度

3. オンライン説明会でいただいた質問や意見

(1) 第1回

- ・ 大会開催中、学校が休校になる計画はあるか。
- ・ 東京2020大会のように多額の経費が使われることへの再発防止策について、「第三者委員会が強力な権限を持って組織委員会をチェックする」とのことだが、法的根拠や具体策が提示されていない。
- ・ 札幌で大会を開催出来ればいいと思うが、開催地が札幌に決まるためには、何がポイントになるのか。
- ・ 大会会場内の物販等は、キャッシュレス決済専用にする計画はあるのか。
- ・ 大会招致公式X(旧:Twitter)のフォロワー数は国を挙げての事業としては少なく、発信力が欠けているように思う。SNSの発信力強化に向けて考えはあるか。
- ・ 札幌市民の多数が大会に無関心で、大会招致を積極的に望んでいないと思う。
- ・ 円安や日本の経済状況、また少子高齢化の加速に伴い、大会経費は2030年までさらに膨らむと思う。
- ・ 義務教育の現場でリフト代を無償とするなどしてほしい。

- ・ 大会開催に賛成している。大会招致についてもっとアピールしてほしい。
- ・ 大会招致に反対する人は「税金の無駄遣い」、「不透明な金の流れ」を指摘するが、実際に東京大会後に都民が増税に苦しんでいるとは思えない。むしろ東京大会の開催により、様々なものが整備されたと感じる。
- ・ 大会招致に反対する人は反対する理由をもっと突っ込んで議論すべき。
- ・ 1972年の札幌大会開催時には地下鉄の開通等様々なインフラが整備され、今もその恩恵を受けている。大会開催は次の50年100年後の札幌へ向かうための取組みの1つ。

(2) 第2回

- ・ 市営住宅月寒団地を建替えて選手村として使用するにあたり、その期間、住民はどうなるのか。また、団地の跡地利用について教えて欲しい。
- ・ バリアフリー化やインフラの更新は大会がなくても札幌市が取り組むべきであり、なぜ大会を契機にそれらを達成しなければいけないのか。
- ・ 東京大会では会場付近の駅周辺だけが良くなり、福祉や医療等がおろそかになっていた。同様のことが札幌大会でも起こるのではないか。
- ・ 大会を開催するとどのような経済効果やメリットがあるのか。
- ・ 住民投票は実施しないのか。

(3) 第3回

- ・ 大会経費について、収支が赤字となった場合でも、札幌市は公費を投入しないと切り切れるのか。また、大会招致に係る職員の給料も公費に含まれているのか。
- ・ 1972年の札幌大会では恵庭岳の自然が破壊され、現在も回復していないことが指摘されているが、どのように考えるか。
- ・ 1998年の長野大会では自然が破壊されたことに加え、借金にも苦しみ、使わない箱ものだらけとなったが、どのように考えるか。
- ・ 反対意見との対話をどれだけしっかり取り組むつもりなのか。
- ・ 2030年札幌大会の開催を非常に期待している。札幌市の説明は税金を最小限しか投入しないことを一番強く訴えているようで少し寂しい。
- ・ 札幌市の雪道について、大会開催までに札幌市の道路をすべてロードヒー

ディングにするというような大型投資等は想定していないのか。

- ・ 大会の開催地決定について、札幌市の勝算や他都市と比較した札幌市の強みや弱みを教えて欲しい。
- ・ 昨年度の説明時から施設整備費が増加しており、説明に信ぴょう性がない。
- ・ 昨年新聞社の世論調査では、札幌市民の過半数が大会招致に反対している結果も出ており、(大会を開催できないことが) 決まった話ではないかと思う。なぜ札幌市は大会招致を続けるのか。
- ・ 大倉山ジャンプ競技場、宮の森ジャンプ競技場の改修が必要な理由として国際基準を満たしていないという説明があったが、一方で FIS 国際スキー連盟の承認は得ているのではないか。
- ・ 東京大会を批判した教師が上司から嫌がらせを受けた問題があったが、札幌市は教育委員会に対し反対意見を持つ教師へ圧力をかけぬよう指示できるのか。
- ・ 施設整備費について、大会が開催される場合、交付金の額は増えるのか。
- ・ スポーツ交流拠点となるエリアにナショナルトレーニングセンターが整備される可能性は高いのか。また、そのエリアに地下鉄が延伸される可能性はあるか。
- ・ 札幌市に若い人を呼び込むために、このようなスポーツの力(大会開催)は重要だと思う。
- ・ 費用負担の話は、将来税金を支払う小学生、中学生、高校生、大学生に説明していくべき。
- ・ 住民投票には反対。実施するのであれば、若い世代を中心としないと、不公平。
- ・ 大会はどこで開催しても同じで、札幌で開催する必要はないと思う。
- ・ 住民投票を行ってほしい。

(4) 第4回

- ・ 札幌ドームの運営が2030年まで赤字が続いた場合、維持費は札幌市が負担するのか。また、それに伴う住民税の増税はないのか。
- ・ 住民投票の実施について議論しているか。
- ・ 大会の開催意義がわからないので、経済効果やまちづくりについて具体的

に示してほしい。

- ・ 大会招致は市民に諮られておらず、招致を目指す市長が当選したから承認されたというのは、乱暴な進め方と感じる。
- ・ 大会開催後の施設の維持費や運営費の見通しが説明されていない。
- ・ 東京都でオリパラ教育に反対している教員たちが転勤を強要された事例があったが、札幌で同様の事例が起こらないようどう教育現場に指導するのか。
- ・ ウィンタースポーツにおいて、温暖化は重要な問題だが、どのような対策をするのか。
- ・ 資材高騰は想定しているか。
- ・ 大会経費が想定している予算を超えた場合、超過分は誰が補填するのか。
- ・ 月寒体育館の建替に 400 億円もかかると思えない。何万人規模の観客動員を見込んでいるのか。大会招致が決まる前にこれだけの費用がかかる理由を市民に説明する必要がある。
- ・ 札幌市は他政令市と比較し大企業が少ないため自力で得られる収入が少ない。2030 年にオリパラを開催する場合、財政基盤がより、強固になることを明示してほしい。
- ・ 住民投票は反対。人口の年齢構成に偏りがあるので不公平。将来の負担を担う若年層にも意見を聞き、それをもとに大人が議論をすべき。
- ・ 札幌ドームを現在の機能を残しつつ合宿などでもできるウィンタースポーツのハイパフォーマンスセンターにしてはどうか。
- ・ 大会招致が決まる前に変更点の説明や透明性の確保ができるかが市民の信頼の源となる。
- ・ 札幌市のオリパラ教育は招致推進に偏っている。子供たちの実際の声も丁寧に拾い上げるべき。